科目名: 国語 4a		英文名: Japanese 4a	
担当者: 大内清司			
工学科: 総合システム	学年: 4	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 文章の整え方(1)話し言葉を書き言葉に直す 第 2週 文章の整え方(2)言い切り型の文を書く 第 3週 文章の整え方(3)主述を呼応させる 第 4週 文章の整え方(4)接続詞を使いこなす 第 5週 熟語の整理 第 6週 ことわざ 第 7週 故事成語 第 8週 漢字の習得(1) 第 9週 答案返却・解答 第10週 原稿用紙の使い方 第11週 作文の書き方(1)「高専生活で得たもの」 第12週 作文の書き方(2)「高専生活で得たもの」 第13週 類義語・反対語、文学史の整理(1) 第14週 類義語・反対語、文学史の整理(2) 第15週 漢字の習得(2)	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、進学・就職に対応できる文章構成能力と読解力向上のため、日本語運営能力の基礎を身につけます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)(D-1)四字熟語や故事成語、ことわざなど言葉について知識を深める(漢検2・準2級相当)。 2. (E-G1)(E-1)論理的に考え、説得力を持って意見を提示することが出来る書き方を理解する。 ことができるようになります。 ■教科書 『パスポート国語必携』 桐原書店 ■参考書 『パーフェクト常用漢字』 第一学習社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(60%)、漢字小テスト(40%)として評価します。ただしノートの提出が無い場合は−20%。定期試験は中間・期末の2回。 方 式:記述式 最終成績: 定期考査成績の平均点とし、90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上80点未満「良」、60点以上70点未満「可」、60点未満「不可」とします。 ■授業時間外に必要な学修 特になし ■教員所在場所 大内清司:本館1階 保健管理センター ■授業評価アンケート実施方法 2月に Web Class にて入力を実施します。 ■メールアドレス 大内:oouchi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 大内清司:月12:15〜13:00

科目名: 国語 4b		英文名: Japanese 4b	
担当者: 大内清司			
工学科: 総合システム	学年: 4	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解答 第 2週 作文の書き方(1)「自己アピール」 第 3週 作文の書き方(2)「自己アピール」 第 4週 作文の書き方(1)「志望動機」 第 5週 作文の書き方(2)「志望動機」 第 6週 SPI言語的分野の演習(1) 第 7週 SPI言語的分野の演習(2) 第 8週 SPI性格適性検査の演習(1) 第 9週 SPI性格適性検査の演習(2) 第10週 答案返却・解答 第11週 小論文の書き方 概説 第12週 小論文の書き方(1)「理想の技術者像」 第13週 小論文の書き方(2)「理想の技術者像」 第14週 公務員試験文章理解の演習(1) 第15週 公務員試験文章理解の演習(2)	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、進学・就職に対応できる文章構成能力と読解力向上のため、日本語運営能力の基礎を身につけます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)(D-1)四字熟語や故事成語、ことわざなど言葉について知識を深める(漢検2・準2級相当)。 2. (E-G1)(E-1)論理的に考え、説得力を持って意見を提示することが出来る書き方を理解する。 ことができるようになります。 ■教科書 『パスポート国語必携』 桐原書店 ■参考書 『パーフェクト常用漢字』 第一学習社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(60%)、漢字小テスト(40%)として評価します。ただしノートの提出が無い場合は−20%。定期試験は中間・期末の2回。 方 式:記述式 最終成績: 定期考査成績の平均点とし、90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上80点未満「良」、60点以上70点未満「可」、60点未満「不可」とします。 ■授業時間外に必要な学修 特になし ■教員所在場所 大内清司:本館1階 保健管理センター ■授業評価アンケート実施方法 2月に Web Class にて入力を実施します。 ■メールアドレス 大内:oouchi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 大内清司:月12:15〜13:00

科目名： 英語4a		英文名： English 4a	
担当者： 高畑時子　藤川雅行　花巻昌子　福岡玲子			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 必修	単位数： 1.5	習熟度別クラス編成	

授　業　計　画	授　業　概　要
第　1週　Unit 1 College Life I: Welcome to College 第　2週　Unit 1 College Life I: Welcome to College 第　3週　Unit 2 College Life II: Course Registration 第　4週　Unit 2 College Life II: Course Registration 第　5週　Unit 3 Hobbies: Do It Yourself 第　6週　Unit 3 Hobbies: Do It Yourself 第　7週　Unit 4 Romance: The Guardian of Love 第　8週　Unit 4 Romance: The Guardian of Love 第　9週　答案返却・解答 Unit 5 Transportation: Low-Cost Carriers 第10週　Unit 5 Transportation: Low-Cost Carriers 第11週　Unit 6 Business: An Indian Restaurateur 第12週　Unit 6 Business: An Indian Restaurateur 第13週　Unit 7 Society: Global Self-Help Revolution 第14週　Unit 7 Society: Global Self-Help Revolution 第15週　Unit 8 Health: Achilles Tendon Repture	■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、英語を読む、書く、聞く、話す活動を総合的に行い、実社会で使える英語コミュニケーション能力を身につける活動を行います。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2) 英語の概略を聞き取る。 2. (E-G2)(E-2) 英語を英語のまま理解する。 3. (E-G2)(E-2) 外国の生活や文化について理解を深める。 ことができるようになります。ただし習熟度Cクラス(1～3)、A1,A2,A3クラス(1～2)を到達目標とします。 ■教科書　Power-up Enlish, Pre-Intermediate（南雲堂） ■参考文献　なし ■関連科目　英語1、英語2、英語3、英語演習4、英語特講、TOEICプラス、外国文献講読 ■成績評価方法および基準 種類：定期試験（2回）、方式：記述式と選択式 定期考査成績：共通テスト80%、小テスト10%、課題10%で評価します。 最終成績：2回の定期考査成績の平均点とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修　授業で指定された、単語、熟語、表現を覚えること。 ■教員所在場所　高畑：本館2階教務部　藤川、花巻、福岡：2号館2階共通教育科 ■授業評価アンケート実施方法　10月に Web Class への入力にて実施します。 ■メールアドレス　高畑：takahata@ktc.ac.jp、藤川：fujikawa@ktc.ac.jp、 花巻：hanamaki@ktc.ac.jp、福岡：fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー　月曜日と水曜日の12時15分～12時55分

科目名： 英語4b		英文名： English 4b	
担当者： 高畑時子　藤川雅行　花巻昌子　福岡玲子			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 必修	単位数： 1.5	習熟度別クラス編成	

授　業　計　画	授　業　概　要
第　1週　答案返却・解答 Unit 9 The Environment: Aulminium-can Recycling 第　2週　Unit 9 The Environment: Aulminium-can Recycling 第　3週　Unit 10 Medicine: Alternative Medicine 第　4週　Unit 10 Medicine: Alternative Medicine 第　5週　Unit 11 Finance: Two Big Players 第　6週　Unit 11 Finance: Two Big Players 第　7週　Unit 12 Shopping: Smat Shopping 第　8週　Unit 12 Shopping: Smat Shopping 第　9週　Unit 13 Careers: Job Hunting 第10週　答案返却・解答 Unit 14 Art: The Shadow of a Great Artist 第11週　Unit 14 Art: The Shadow of a Great Artist 第12週　Unit 15 Culture: Everyday Japan and "Matsuri" Japan 第13週　Unit 15 Culture: Everyday Japan and "Matsuri" Japan 第14週　Unit 16 Population: The Diclining Birthrate 第15週　Unit 16 Population: The Diclining Birthrate	■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、英語を読む、書く、聞く、話す活動を総合的に行い、実社会で使える英語コミュニケーション能力を身につける活動を行います。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2) 英語の概略を聞き取る。 2. (E-G2)(E-2) 英語を英語のまま理解する。 3. (E-G2)(E-2) 外国の生活や文化について理解を深める。 ことができるようになります。ただし習熟度Cクラス(1～3)、A1,A2,A3クラス(1～2)を到達目標とします。 ■教科書　Power-up Enlish, Pre-Intermediate（南雲堂） ■参考文献　なし ■関連科目　英語1、英語2、英語3、英語演習4、英語特講、TOEICプラス、外国文献講読 ■成績評価方法および基準 種類：定期試験（2回）、方式：記述式と選択式 定期考査成績：共通テスト80%、小テスト10%、課題10%で評価します。 最終成績：2回の定期考査成績の平均点とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修　授業で指定された、単語、熟語、表現を覚えること。 ■教員所在場所　高畑：本館2階教務部　藤川、花巻、福岡：2号館2階共通教育科 ■授業評価アンケート実施方法　2月に Web Class への入力にて実施します。 ■メールアドレス　高畑：takahata@ktc.ac.jp、藤川：fujikawa@ktc.ac.jp、 花巻：hanamaki@ktc.ac.jp、福岡：fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー　月曜日と水曜日の12時15分～12時55分

科目名: 経済学a		英文名: Economics a	
担当者: 西 孝			
工学科: 総合システム	学年: 4	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 2		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス、経済学とは何か、目的、考え方 第 2週 ミクロ経済学の基礎的概念 第 3週 経済の主体 (家計、企業、政府) 第 4週 家計の行動、企業の行動 第 5週 市場メカニズム(需要と供給、需要曲線) 第 6週 市場メカニズム(供給曲線他) 第 7週 均衡価格、均衡取引量 第 8週 企業の構造、企業の種類、費用、利潤 第 9週 答案返却・解説 第10週 株主総会、財務諸表 第11週 市場の失敗と不完全競争(外部経済、公共財、フリーライダー) 第12週 寡占、独占 第13週 不完全競争の発生理由 第14週 不完全競争市場の特徴 第15週 振り返り、まとめ	■授業概要・方法等 はじめて経済学を学ぶ学生が経済学に親しみ、基礎的な内容を理解できるように配慮します。ミクロ経済の基本的な仕組みについて、身近な事例をとおして学習します。方法としては、主として講義形式でおこない、今日的な問題、テーマについて材料を提供し、クラスでの質疑応答・問題演習も織り交ぜます。これらにより理解度を深めるよう努めます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)(D-1) ミクロ経済用語の基礎知識を修得する。 2. (D-G1)(D-1) ミクロ経済の動きについての基本的仕組みを理解する。 3. (D-G1)(D-1) 身近な事例を通してミクロ経済についての関心と理解を深める。 ことができるようになります。 ■教科書 高橋知也・鈴木久美『超入門経済学』ミネルヴァ書房) ■関連科目 政治・経済・数学 ■成績評価方法および基準 種類:筆記試験(中間・期末の2回), 方法:記述式 定期考査成績:筆記試験(100%)で評価します。 最終成績:2回の定期考査成績の平均とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 特になし ■教員所在場所 本館2階応接室 ■授業評価アンケート実施方法 10月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス tnishi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 水曜日13:00～14:25

科目名: 経済学b		英文名: Economics b	
担当者: 西 孝			
工学科: 総合システム	学年: 4	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 2		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解答 第 2週 マクロ経済学の基礎的概念 第 3週 国民所得の決定 (1) 第 4週 国民所得の決定 (2) 第 5週 投資需要の決定 第 6週 貨幣の供給 第 7週 財政とは、財政の役割、財政危機、財政赤字 第 8週 我が国の予算制度、財政投融資、国と地方自治体の関係 第 9週 税制 第10週 答案返却・解答 第11週 貨幣と金融、直接金融、間接金融、銀行の役割、中央銀行、金融政策 第12週 労働市場、労働人口、失業、労働需要 第13週 国際マクロ経済学 保護主義、交易がおこなわれる理由 第14週 国際マクロ経済学 交易がおこなわれる理由、交易に関する理論 第15週 産業連関分析	■授業概要・方法等 本授業では、はじめて経済学を学ぶ学生が経済学に親しみ、基礎的な内容を理解できるように配慮します。マクロ経済の基本的な仕組みについて、身近な事例をとおして学習します。方法としては、講義形式で行います。クラスでの質疑応答・問題演習・グループワークを通じてさらに理解度を深めます。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)(D-1) マクロ経済用語の基礎知識を修得する。 2. (D-G1)(D-1) マクロ経済の動きについての基本的仕組みを理解する。 3. (D-G1)(D-1) 身近な事例を通してマクロ経済についての関心と理解を深める。 ことができるようになります。 ■教科書 高橋友也・鈴木久美『超入門経済学』(ミネルヴァ書房) ■関連科目 政治・経済・数学 ■成績評価方法および基準 種類:筆記試験(中間・期末の2回), 方法:記述式 定期考査成績:筆記試験(100%)で評価します。 最終成績:2回の定期考査成績の平均とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 特になし ■教員所在場所 本館2階応接室 ■授業評価アンケート実施方法 2月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス tnishi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 水曜日13:00～14:25

科目名: 保健体育4a		英文名: Health and Physical Education 4a	
担当者: 辻本 修			
工学科: 総合システム	学年: 4	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ストレッチ体操の基本と体つくり運動 第 2週 保健・体育理論 Ⅰ－1 スポーツ障害 第 3週 球技・基本技術の向上(バスケットボールⅠ) 第 4週 球技・戦術的能力の向上(バスケットボールⅡ) 第 5週 保健・体育理論 Ⅰ－2 スポーツトレーニングについて 第 6週 球技・基本技術の向上(バドミントンⅠ) 第 7週 球技・戦術的能力の向上(バドミントンⅡ) 第 8週 球技・基本技術の向上(サッカーⅠ) 第 9週 球技・戦術的能力の向上(サッカーⅡ) 第10週 保健・体育理論 Ⅱ－1 文化としてのスポーツについて 第11週 球技・基本技術の向上(ソフトボールⅠ) 第12週 球技・戦術的能力の向上(ソフトボールⅡ) 第13週 新体力テスト 第14週 新体力テスト 第15週 新体力テスト	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理す為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1. (C-G2)(D-G2)(C-2)(D-2) 自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。 2. (D-G2)(D-2) 集団行動を通じて協調性を養う。 3. (D-G2)(D-2) 多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚える。 ことができるようになります。 ■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」大修館」 ■参考文献 特にありません。 ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価基準 種類: 定期試験(1回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と前期に行なう定期考査(20%)によって 総合的に評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習して下さい。 ■教員所在場所 :3号館1階体育教官室 ■授業評価アンケート実施 9月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス tujimoto@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 水曜日の午後及び、金曜日終日

科目名: 保健体育4b		英文名: Health and Physical Education 4b	
担当者: 辻本 修			
工学科: 総合システム	学年: 4	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 答案返却・解答 保健・体育理論 Ⅲ－1現代社会における健康について 第2週 球技・レクリエーションスポーツ(Ⅰ) 第3週 球技・レクリエーションスポーツ(Ⅱ) 第4週 球技・レクリエーションスポーツ(Ⅲ) 第5週 球技・レクリエーションスポーツ(Ⅳ) 第6週 保健・体育理論 Ⅲ－2 疾病とその予防について 第7週 陸上競技・マラソン 第8週 陸上競技・マラソン 第9週 陸上競技・マラソン 第10週 陸上競技・マラソン 第11週 保健・体育理論 Ⅳ－1－2－3 生涯スポーツと健康 第12週 陸上競技・マラソン計測 第13週 新体力テスト 第14週 新体力テスト 第15週 新体力テスト	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理す為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1. (C-G2)(D-G2)(C-2)(D-2) 自分で健康を管理する為の基本的知識を身に付ける。 2. (D-G2)(D-2) 集団行動を通じて協調性を養う。 3. (D-G2)(D-2) 多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚える。 ことができるようになります。 ■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」大修館」 ■参考文献 特にありません。 ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価基準 種類: 定期試験(1回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と前期に行なう定期考査(20%)によって 総合的に評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習して下さい。 ■教員所在場所 :3号館1階体育教官室 ■授業評価アンケート実施 2月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス tujimoto@ktc.ac.jp @ktc.ac.jp ■オフィスアワー 水曜日の午後及び、金曜日終日

科目名： 解析学4a		英文名： Analysis 4a	
担当者： 鍬田　英也			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授　業　計　画	授　業　概　要
第 1週　複素関数　正則関数（複素数と極形式） 第 2週　複素関数　正則関数（絶対値と偏角） 第 3週　複素関数　正則関数（複素関数） 第 4週　複素関数　正則関数（正則関数） 第 5週　複素関数　正則関数（コーシー・リーマンの関係式） 第 6週　複素関数　正則関数（正則関数による写像） 第 7週　複素関数　正則関数（逆関数） 第 8週　正則関数に関する演習 第 9週　答案返却・解答 　　複素関数　積分（複素積分） 第10週　複素関数　積分（コーシーの積分定理） 第11週　複素関数　積分（コーシーの積分表示） 第12週　複素関数　積分（数列と級数） 第13週　複素関数　積分（関数の展開） 第14週　複素関数　積分（孤立特異点と留数） 第15週　複素関数　積分（留数定理）	■授業概要・方法等 微分積分学ⅠⅡで学んだ実数上での微積分法を基礎に複素数上での微積分法を修得します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(A-1)複素関数とはどのようなものかを理解できる。 2. (A-G1)(A-1)複素関数に関する基本的な定理を理解する。 3. (A-G1)(A-1)複素関数に関する基本的な計算ができる。 ようになるようになります。 ■教科書 新訂　応用数学（大日本図書） ■関連科目 基礎数学、微分積分学Ⅰ・Ⅱ、応用数学 ■授業時間以外に必要な学修 講義中に指示された課題等に取り組み、その結果を担当者が確認する。 ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験（2回），方式： 記述式 定期考査成績：定期試験(80%)、課題（20%）として評価します。 最終成績：2回の定期考査成績の平均とします。 90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■教員所在場所/オフィスアワー 2号館2階共通教育職員室/平日12時15分から13時 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWeb Class にて実施します。

科目名： 解析学4b		英文名： Analysis 4b	
担当者： 鍬田　英也			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授　業　計　画	授　業　概　要
第 1週　答案返却・解答 　　偏微分（偏導関数、接平面） 第 2週　偏微分（合成関数の微分法、高次偏導関数） 第 3週　偏微分（多項式による近似） 第 4週　偏微分（極大・極小） 第 5週　偏微分（陰関数の微分法） 第 6週　偏微分（条件付き極値問題） 第 7週　偏微分（包絡線） 第 8週　偏微分の応用に関する演習 第 9週　重積分（2重積分の計算） 第10週　重積分（座標軸の回転） 第11週　重積分（極座標による2重積分） 第12週　重積分（変数変換） 第13週　重積分（変数変換） 第14週　重積分（広義積分） 第15週　重積分（2重積分のいろいろな応用）	■授業概要・方法等 必修科目の「応用数学」で学んだ「偏微分」「重積分」で扱えなかったそれぞれの応用について修得します。 ■到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(A-1)偏微分法をもちいて極大・極小、条件付き値問題等について解くことができる。 2. (A-G1)(A-1)変数変換をすることによる重積分の計算ができるようになる。 ようになります。 ■教科書 新訂　微分積分学Ⅱ（大日本図書） ■関連科目 微分積分学Ⅰ ■授業時間以外に必要な学修 講義中に指示された課題等に取り組み、その結果を担当者が確認する。 ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験（1回），方式： 記述式 定期考査成績：定期試験(40%)、単元テスト（40%）、課題（20%）として評価します。 最終成績：定期考査成績に準じます。 90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■教員所在場所/オフィスアワー 2号館2階共通教育職員室/平日12時15分から13時 ■授業評価アンケート実施方法 2月に Web Class にて実施します。

科目名: 中国語 初級a		英文名: Chinese(beginner's class)a	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 4		開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス(中国語の特徴と概要及び授業の進め方) 第 2週 発音編(音節の成り立ち、母音1) 第 3週 発音編(子音1) 第 4週 発音編(子音2) 第 5週 発音編(母音2) 第 6週 発音編(母音3) 第 7週 発音編(音節のつづり方、声調の変化) 第 8週 発音編(発音の総合練習1) 第 9週 テスト返却・解説と共通弱点の補強練習 第10週 発音編(発音の総合練習2) 第11週 第1課 你好!(こんにちは!) 第12週 第2課 谢谢! (ありがとう。) 第13週 第3課 你叫什么名字?(あなたの名前は?) 第14週 第4課 我是日本人。(わたしは日本人です。) 第15週 第4課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: ①中国語発音(ピンイン)の学習 ②挨拶語の学習 ③自己紹介の習得 授業方法: ①日本語ローマ字と比べながらピンインを教える。 ②各課の基本文型や文法を教え、本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげる。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は, この授業を履修することによって, 1. (E-G2)(E-2)中国語の背景となる歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考える、 2. (E-G2)(E-2) 言語学、音韻学的に中国語を理解し、中国語の基礎学力を身に付けます。具体的には、前期に於いては、中国語発音記号(ピンイン)の読み、書き、聞き、話すことができ、字引きを利用できるように習得する。中国語での挨拶ができ、自己紹介ができるように習得する。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社)を使用します。また、夏季休暇には課題プリントを課します。 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2回) 方式:記述式, リスニング 定期考査成績:(中間)記述式70点、リスニング30点。 (期末)記述式60点、リスニング30点。 夏季課題(プリント) 10点。(期末点に加算します。) 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 10月に Web Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 国際交流部 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー土曜午後

科目名: 中国語 初級b		英文名: Chinese (beginner's class) b	
担当者:小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 4		開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第 2週 第5課 你是不是高中生?(あなたは高校生ですか。) 第 3週 第5課の継続 第 4週 第6課 这是什么?(これは何ですか。) 第 5週 第6課の継続 第 6週 第7課 这是我的词典 (これはわたしの辞書です。) 第 7週 第7課の継続 第 8週 第8課 你喝茶吗?(あなたはお茶を飲みますか。) 第 9週 第8課の継続 第10週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第11週 第9課 这个很好。 (これはとてもよい。) 第12週 第9課の継続 第13週 第10課 你有零钱吗?(小銭をお持ちですか。) 第14週 第10課の継続 第15週 第10課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: 述語文を中心として、名詞、動詞、形容詞、指示代詞、疑問詞、所属・所有、数字などの使い方について学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は, この授業を履修することによって, 1.(E-G2)(E-2) 背景となる中国の歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考えることがができるようになります。 2. (E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種述語文の基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類 : 定期試験 方式 : 記述式, リスニング 成績 : 記述式70点、リスニング30点。 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 2月に Web Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 国際交流部 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 土曜午後

科目名: 中国語 中級 a		英文名: Chinese(intermediate class)a	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 4		開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス、第11課 介绍一下。(ちょっと紹介します。) 第 2週 第11課の継続 第 3週 第12課 你家有几口人?(何人家族ですか。) 第 4週 第12課の継続 第 5週 第13課 你们班有多少学生?(あなたのクラスには何人の学生がいますか。) 第 6週 第13課の継続 第 7週 第14課 现在几点了? (今何時ですか。) 第 8週 第14課の継続 第 9週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第10週 第15課 今天几月几号?(今日は何月何日ですか。) 第11週 第15課の継続 第12週 第16課 你几点开始学习?(何時に勉強を始めますか。) 第13週 第16課の継続 第14週 第17課 你每天学习几个小时?(何時間勉強しますか。) 第15週 第17課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: 場所、時間、月日、曜日の表し方や疑問代詞、助数詞、動詞の重ね型などの使い方について学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって, 1.(E-G2)(E-2) 背景となる中国の歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考えることがができるようになります。 2. (E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 特にありません。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2回) 方式:記述式, リスニング 定期考査成績 : (中間)記述式70点、リスニング30点。 (期末)記述式60点、リスニング30点。 夏季課題(プリント) 10点。(期末点に加算します。) 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 10月にWeb Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 国際交流部室 ■オフィスアワー 土曜午後 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp

科目名: 中国語 中級 b		英文名: Chinese (intermediate class)b	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 4		開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第 2週 第18課 王强来了吗? (王強君は来ましたか。) 第 3週 第18課の継続 第 4週 第19課 听说这部电影很有意思?(この映画はとても面白そうです。) 第 5週 第19課の継続 第 6週 第20課 这儿可以坐吗? (ここに座ってもいいですか。) 第 7週 第20課の継続 第 8週 第20課の継続 第 9週 第21課 你会滑雪吗?(あなたはスキーができますか。) 第10週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第11週 第21課の継続 第12週 第21課の継続 第13週 第22課 明天我跟同学一起打网球。(明日私はクラスメートと一緒にテニスをします。) 第14週 第22課の継続 第15週 第22課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: 完了や経験などを表す文や動詞の連動文、伝聞の表現、助動詞や前置詞などについて学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって, 1.(E-G2) 中国語の背景となる歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考える。 2.(E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類 : 定期試験 方式 : 記述式, リスニング 成績 : 記述式70点、リスニング30点。 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 2月にWeb Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書1階 国際交流部室 ■オフィスアワー 土曜午後 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp

科目名: 中国語 上級 a		英文名: Chinese(intermediate class)a	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 4		開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス、第23課 桌子上放着什么？(机の上には何が置いてありますか。) 第 2週 第23課の継続 第 3週 第23課の継続 第 4週 第24課 你弟弟在干什么呢？(弟さんは何をしていますか。) 第 5週 第24課の継続 第 6週 第25課 我身体不舒服。(私は体の具合が悪い。) 第 7週 第25課の継続 第 8週 第25課の継続 第 9週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第10週 第26課 离这儿远吗？(ここからは遠いですか。) 第11週 第26課の継続 第12週 第26課の継続 第13週 第27課 你说汉语说得很好。(あなたは中国語を話すのがとても上手です。) 第14週 第27課の継続 第15週 第27課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: 持続、進行を表す文や、主述述語文、選択疑問文の表し方、方位詞、程度補語、前置詞“离”、副詞“就”などの使い方について学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって, 1.(E-G2)(E-2) 背景となる中国の歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考えることがができるようになります。 2. (E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2回) 方式:記述式, リスニング 定期考査成績 : (中間)記述式70点、リスニング30点。 (期末)記述式60点、リスニング30点。 夏季課題(プリント) 10点。(期末点に加算します。) 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 10月にWeb Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 国際交流部室 ■オフィスアワー 土曜午後 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp

科目名: 中国語 上級 b		英文名: Chinese (intermediate class)b	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 4		開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第 2週 第28課 什么时候到北京的？(いつ北京に着いたのですか。) 第 3週 第28課の継続 第 4週 第28課の継続 第 5週 第29課 小的比大的好。(小さいのは大きいのよりよい。) 第 6週 第29課の継続 第 7週 第29課の継続 第 8週 第30課 准备好了吗？(準備はできましたか。) 第 9週 第30課の継続 第10週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第11週 第31課 快要下雨了。(今にも雨が降りそうです。) 第12週 第31課の継続 第13週 第32課 祝你成功！(成功を祈ります。) 第14週 第32課の継続 第15週 第32課の継続	■授業概要・方法等 授業概要:比較の表現や二つの目的語を取る動詞、結果補語、方向補語、自然現象の表し方などについて学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって, 1.(E-G2) 中国語の背景となる歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考える。 2.(E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類 : 定期試験 方式 : 記述式, リスニング 成績 : 記述式70点、リスニング30点。 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 2月にWeb Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書1階 国際交流部室 ■オフィスアワー 土曜午後 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp

科目名： 韓国語Ⅰa		英文名： Korean Language Ia	
担当者： 李 辰淑(イーチンスク)			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 韓国の紹介 1課 韓国語とは ハングル文字のしくみ 1課文字と発音(1) 1－1単母音、1－2初声・その1(鼻音・流音) 第2週 1課単母音、初声・鼻音・流音の復習、 (1－3)半母音+単母音(1－4)終声(パッチム) 第3週 2課 文字と発音(2) 2－1初声・その2(平音) 2－2 発音の規則・有声音化 第4週 2課 2－3 半母音＋単母音 二重母音 2－4発音の規則;連音化 第5週 3課文字と発音(3) 3－1初声。その3(激音) 3－2 初声・その4(濃音) 第6週 3課 終声・その2 3－4 発音の規則:濃音化 第7週 4課 韓国人です。4－1 助詞 ～は、 4－2 ～です。・～ですか？ 第8週 4課 ～と申します。～といいます。 4課の復習とまとめ 第9週 答案返却と解答 第10週 5課 韓国語は専攻ではありません。5－1 助詞 ～が 5－2 丁寧表現 ～です。・～ですか？ 第11週 5課 5－3 ～ではありません。5課の復習 第12週 6課 講義室は階段の横にあります。6－1 漢数詞 第13週 6課 6－2 時間と場所の助詞 ～に 6－3 ～あります・います。～ありません・いません。 第14週 6課の復習とまとめ5, 6。 第15週 6課までの応用と復習。	■授業概要・方法 テキストを中心に日本語のあ、い、う、え、おにあたる韓国語の単母音から覚え始め、読み、書き、聞き取り、基礎力をしっかり正確に身につける事を目標にする。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、 韓国の言葉の理解と共にその隣国の文化の理解を深める事が出来、 これからの日韓の友好関係の持続の為、若者のcommunication 場を広げる きっかけになる事を目標にする。 ■教科書(韓国語の世界へ) 入門編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ほっとコリア(ハングルキーボード機能付き韓国語翻訳) ★Sogang University H:P (Korean.sogang.ac.kr) ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験、方式： 記述式、読み、聞き取り 定期考査成績:定期試験と夏休みの課題、冬休みの課題各10点加算して評価します。 最終成績:定期考査成績の平均で評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」 、60点未満「不可」 ■授業時間以外に必要な学習・・・ 科目が始まる前に付録についているCDを事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWebクラスにて実施します。 ■メールアドレス sook127@asint.jp ■オフィスアワー 質問はメール形式 ■教員所在場所 図書館1階

科目名： 韓国語Ⅰb		英文名： Korean Language Ib	
担当者： 李 辰淑(イーチンスク)			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却と解答 第 2週 前期の復習、第7課 ―午後時間は大丈夫ですか？ 7－1へヨ体の作り方(1) 7－2 目的助詞～を 7－3 ～も 第 3週 8課 小学生にテコンドを教えています。指示詞 8－1へヨ体作り方(2) 第 4週 8課 8－1へヨ体復習 8－2 助詞～で 8－3 助詞 ～に(人、動物など) 第 5週 8課の復習とまとめ7, 8。 9課 －ふつう、6時に起きます。 9－1へヨ体作り方(3) 第 6週 9課 9－2 助詞～で 9－3 助詞 移動の起点着点 ～から、～まで。 第7週 9課 9－4 固有数詞 9課の復習 第8週 10課―野球がとても好きです。10－1へヨ体の作り方(4) 10－2 助詞 ～しに 第9週 10課 助詞 時の起点と終点～から～まで、10課の復習、まとめ9, 10 第10週 答案返却と解答 第11週 11課 －昼ごはん、食べなかったですか？ 11－1過去形の作り方 第12週 11課 11－2 ㅇ語幹の用言 11－3 ～しない、～くない 第13週 11課の復習とまとめ 第14週 12課 春休みに何をするつもりですか？ 12－1 ～されます・お～です・～でいらっしゃいます。 第15週 12課 12－2 ～するつもりです・～するでしょう。 12－3 ～したい 12課の復習とまとめ	テキストを中心に、読み、書き、聞き取り、基礎力をしっかり正確に身につける事を目標にする。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、 韓国の言葉を理解すると共に隣国の文化の理解を深める事が出来、 これからの日韓の友好関係の持続の為、若者のcommunication 場を広げる きっかけになる事を目標にする。 ことができるようになります。 ■教科書(韓国語の世界へ) 入門編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験、方式： 記述式、読み、聞き取り 定期考査成績:定期試験と夏休みの課題、冬休みの課題各10点加算して評価します。 最終成績:定期考査成績の平均で評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」 、60点未満「不可」 ■授業時間以外に必要な学習・・・ 科目が始まる前に付録についているCDを事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWebクラスにて実施します。 ■メールアドレス sook127@asint.jp ■オフィスアワー 質問はメール形式 ■教員所在場所 図書館1階

科目名： 韓国語 Ⅱa		英文名： Korean Language Ⅱa	
担当者： 李 辰淑(イーチンスク)			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 1課 何学番ですか？へヨ体、丁寧体 1－1へヨ体の現在形、過去形まとめと復習。 第2週 1課 1－2 丁寧体～です・～ですか？ ～ます・～ますか？ 1課の復習 第3週 2課 韓国語を一所懸命勉強するつもりです。 2－1 ～するつもりです、～するでしょう。 第4週 2課 2－2 ～して、～くて、～で 2－3 ～でしょう？ 2課の復習 第5週 3課 電子辞書 ちょっと見せてください。 3－1 ～だが、～けれど 3－2 形容詞の現在連体形 第6週 3課 3－3 ～してあげる、～してください。3課の復習 第7週 4課 チューターが要りませんか？ 4－1～れば、～たら 4－2 動詞, 存在詞の現在連体形 第8週 4－3 ～しない、～くない、～ではない 4課の復習 第9週 答案返却と解答 第10週 5課 この間、一緒に撮った写真も送りました。 5－1 動詞の過去連体形 第11週 5課～ですね。～ますね。ㅁ変則活用の用言、5課の 復習 第12週 6課 交通事故で道が混んで来られませんでした。 6－1尊敬の接尾辞 ～なさる。 第13週 6－2 理由、原因や因果関係～て、～ので 第14週 6課 6－3 動詞・存在詞の未来連体形、 6－4 ～できない 6課の復習 第15週 リスニングと動詞、形容詞、現在連体系, 動詞過去形、動詞・存在詞の未来連体形の復習とまとめ	■授業概要・方法 テキストを中心に、正確な発音のしかた、、書きかた、聞き取りを始め、今までの基礎を基に復習を重ねしっかり文の活用が出来る事を目標にし、日常会話、自己表現が出来るよう力付ける。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)(E-2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、韓国の言葉を理解すると共に隣国の文化の理解を深める事が出来、これからの日韓の友好関係の持続の為、若者のcommunication 場を広げるきっかけになる事を目標にする。 ■教科書(韓国語の世界へ) 初中級編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、ライン韓国翻訳 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験、方式： 記述式、読み、聞き取り 定期考査成績：定期試験のみで評価します。 最終成績：定期考査成績の平均に夏休みの課題、冬休みの課題各10点加算して評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」 、60点未満「不可」 ■授業時間以外に必要な学習・・・ 科目が始まる前に付録についているCDを事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWebクラスにて実施します。 ■メールアドレス sook127@asint.jp ■オフィスアワー 質問はメール形式 ■教員所在場所 図書館1階

科目名： 韓国語 Ⅱb		英文名： Korean Language Ⅱb	
担当者： 李 辰淑(イーチンスク)			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 答案返却と解答 第2週 7課暑い夏にサンゲタンを食べます。 7－1 ～した事がある/ない。 7－2 ～ている。 第3週 7課 7－3 ㅂ変則活用の用言 7課の復習 第4週 8課 重たく無いので一人でします。 8－1 ～している。 8－2 ～ので/～だから 第5週 8－3 ～しますね/～しますから。 8課の復習 第6週 9課 日本のように茶碗を持って食べても良いですか？ 9－1 ～けど 第7週 9課 9－2 ～でもいい。 9－3 ㄹ変則活用の用言, 9課の復習 第8週 10課 リムジンバスの方が便利でしょうね？ 10－1 話し手の維持や椎量を表す接尾辞 10－2 ～んですよ/～ですから 第9週 10課 10－3 ～しなければならない。 10課の復習 第10週 答案返却と解答 第11週 11課 難しすぎませんか？ 11－1 ～でしょうか？/～ましょうか？ 第12週 11課 11－2 ～してみる。 11－3 ～出来る/～出来ない 第13週 12課 卒業してもう1回来ようと思います。 12－1 連体形 ～するようだ/～したようだ/～しそうだ 第14週 12課 12－2 ～しようと思う。 12－3 ～してはいけない。 第15週 これまでのまとめ、総復習	■授業概要・方法 テキストを中心に、正確な発音のしかた、、書きかた、聞き取りを始め、今までの基礎を基に復習を重ねしっかり文の活用が出来る事を目標にし、日常会話、自己表現が出来るよう力付けるように学習する。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)(E-2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、韓国の言葉を理解すると共に隣国の文化の理解を深める事が出来、これからの日韓の友好関係の持続の為、若者のcommunication 場を広げるきっかけになる事を目標にする。 ■教科書(韓国語の世界へ) 初中級編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験、方式： 記述式、読み、聞き取り 定期考査成績：定期試験のみで評価します。 最終成績：定期考査成績の平均に夏休みの課題、冬休みの課題各10点加算して評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」 、60点未満「不可」 ■授業時間以外に必要な学習・・・ 科目が始まる前に付録についているCDを事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWebクラスにて実施します。 ■メールアドレス sook127@asint.jp ■オフィスアワー 質問はメール形式 ■教員所在場所 図書館1階

科目名： 英語演習4a		英文名： English Seminar 4a	
担当者： 上田透			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数：0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 Unit 1 Music and the Mind Vocabulary & Reading 第 2週 Unit 1 Music and the Mind Grammar & Listening 第 3週 Unit 2 Body Language across Cultures Vocabulary & Reading 第 4週 Unit 2 Body Language across Cultures Grammar & Listening 第 5週 Unit 3 Turning Waste into Wealth Vocabulary & Reading 第 6週 Unit 3 Turning Waste into Wealth Grammar & Listening 第 7週 Unit 4 The Search for Other Worlds Vocabulary & Reading 第 8週 Unit 4 The Search for Other Worlds Grammar & Listening 第 9週 答案返却・解答 Unit 5 Crowdsourcing Vocabulary & Reading 第10週 Unit 5 Crowdsourcing Grammar & Listening 第11週 Unit 6 Urban Landmarks Vocabulary & Reading 第12週 Unit 6 Urban Landmarks Grammar & Listening 第13週 Unit 7 Food Safety Vocabulary & Reading 第14週 Unit 7 Food Safety Grammar & Listening 第15週 Unit 8 Spending a Fortune Vocabulary & Reading	■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、様々なトピックを扱った英語を、読む、書く、聞く、話す活動を通して、トピックの理解に必要な語彙や文法を習得し、読解と聞き取りの能力向上を目指します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)トピックの内容を把握するのに必須の語彙を習得する。 2. (E-G2)(E-2)英文の精読によって、読解力を身に着ける。 3. (E-G2)(E-2)トピックに関することを英語で表現する。 ことができるようになります。 ■教科書 Reading Fusion 1(南雲堂) ■参考文献 なし ■関連科目 英語1、英語2、英語3、英語4、英語特講、TOEICプラス 外国文献講読 ■成績評価方法および基準 種類：定期試験（2回）、方式：記述式 定期考査成績：定期試験100%で評価します。 最終成績：2回の定期考査成績の平均点とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 次の授業でやる箇所を予め辞書等を用いて調べておくこと 授業で指定された、単語、熟語、表現を覚えること ■教員所在場所 上田：本館1階学生部 ■授業評価アンケート実施方法 10月に Web Class への入力にて実施します。 ■メールアドレス 上田：ueda@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日と木曜日の12時15分～12時55分

科目名： 英語演習4b		英文名： English Seminar 4b	
担当者：上田透			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 選択	単位数：0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解答 Unit 8 Spending a Fortune Grammar & Listening 第 2週 Unit 9 Wonders of the Deep Vocabulary & Reading 第 3週 Unit 9 Wonders of the Deep Grammar & Listening 第 4週 Unit 10 Product Placement Vocabulary & Reading 第 5週 Unit 10 Product Placement Grammar & Listening 第 6週 Unit 11 White-collar Crime Vocabulary & Reading 第 7週 Unit 11 White-collar Crime Grammar & Listening 第 8週 Unit 12 Working Disabled Vocabulary & Reading 第 9週 Unit 12 Working Disabled Grammar & Listening 第10週 答案返却・解答 Unit 13 Pet Therapy Vocabulary & Reading 第11週 Unit 13 Pet Therapy Grammar & Listening 第12週 Unit 14 Quantum Computers Vocabulary & Reading 第13週 Unit 14 Quantum Computers Grammar & Listening 第14週 Unit 15 Breaking Poverty Cycle Vocabulary & Reading 第15週 Unit 15 Breaking Poverty Cycle Grammar & Listening	■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、様々なトピックを扱った英語を、読む、書く、聞く、話す活動を通して、トピックの理解に必要な語彙や文法を習得し、読解と聞き取りの能力向上を目指します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)トピックの内容を把握するのに必須の語彙を習得する。 2. (E-G2)(E-2)英文の精読によって、読解力を身に着ける。 3. (E-G2)(E-2)トピックに関することを英語で表現する。 ことができるようになります。 ■教科書 Reading Fusion 1(南雲堂) ■参考文献 なし ■関連科目 英語1、英語2、英語3、英語4、英語特講、TOEICプラス 外国文献講読 ■成績評価方法および基準 種類：定期試験（2回）、方式：記述式 定期考査成績：定期試験100%で評価します。 最終成績：2回の定期考査成績の平均点とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 次の授業でやる箇所を予め辞書等を用いて調べておくこと 授業で指定された、単語、熟語、表現を覚えること ■教員所在場所 上田：本館1階学生部 ■授業評価アンケート実施方法 10月に Web Class への入力にて実施します。 ■メールアドレス 上田：ueda@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日と木曜日の12時15分～12時55分

科目名: 応用物理演習4 a		英文名: Advanced Exercises in Applied Physics 4a	
担当者: 川上申之介			
工学科: 総合システム	学年: 4	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 (温度と熱)熱平衡・熱容量 第 2週 (温度と熱)気体の状態方程式・相転移 第 3週 (温度と熱)熱量と比熱と潜熱 第 4週 (温度と熱)熱伝導方程式 第 5週 (熱力学第1法則)気体の分子運動と内部エネルギー 第 6週 (熱力学第1法則)熱力学第1法則 第 7週 (熱力学第1法則)定積過程・定圧過程 第 8週 (熱力学第1法則)等温過程・気体の比熱 第 9週 答案返却・解答、(熱力学第1法則)断熱過程 第10週 (熱力学第1法則)カルノーサイクル・エントロピー 第11週 (振動と波動)調和振動・振動のエネルギー 第12週 (振動と波動)減衰振動とその適用例 第13週 (振動と波動)強制振動とその適用例 第14週 (振動と波動)正弦波と波動方程式 第15週 (振動と波動)波動方程式の解とその適用例	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、近代科学に対応する基礎学力と発展的学力の向上のため、現在の工学の基礎を少し掘り下げて、微積分と微分方程式を積極的に用いて重点的に学習します。 ■到達目標 受講生は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(D-G1)(A-1)(D-1)主に熱力学に関する物理法則を理解し、気体の状態方程式等を用いて、熱平衡状態の気体に関する問題を解くことが出来ます。 2. (A-G1)(D-G1)(A-1)(D-1)主に偏微分を理解し、熱伝導方程式(偏微分方程式)を理解できます。 3. (A-G1)(D-G1)(A-1)(D-1)主に熱力学に関する物理法則を理解し、様々な状態変化に関する問題を解くことが出来ます。 4. (A-G1)(D-G1(A-1)(D-1))主に振動と波動に関する物理法則(微分・偏微分方程式)を理解し、それに関する問題を解くことが出来ます。 ことができるようになります。 ■教科書 「基礎物理学演習Ⅰ, Ⅱ」 永田一清編 サイエンス社 ■参考文献 その都度指示します。 ■関連科目 物理2a・2b・3a・3b, 応用物理a・b ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回), 方式: 記述式 定期考査成績:定期試験100%で評価します。 最終成績:定期考査成績を平均して評価します。 90点以上「秀」, 80点以上90点未満「優」, 70点以上～80点未満「良」, 60点以上～70点未満「可」, 60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 各講義で指示された課題に取り組むこと ■教員所在場所 入試部 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWeb Classにて実施します。 ■メールアドレス kawakami@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 水曜日 9限目

科目名: 応用物理演習4b		英文名: Advanced Exercises in Applied Physics 4b	
担当者: 川上申之介			
工学科: 総合システム	学年: 4	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解答、(電磁気学)クーロンの法則と重ね合わせの原理 第 2週 (電磁気学)電場とそのいくつかの例 第 3週 (電磁気学)ガウスの法則 第 4週 (電磁気学)電位 第 5週 (電磁気学)導体・コンデンサー 第 6週 (電磁気学)電流と回路-キルヒホッフの法則 第 7週 (電磁気学)電流に働く磁気力-ローレンツ力 第 8週 (電磁気学)電流が作る磁場1-ビオ・サバールの法則 第 9週 (電磁気学)電流が作る磁場2-アンペールの法則 第10週 答案返却・解答、(電磁気学)誘電体中の静電場 第11週 (電磁気学)磁性体中の静磁場 第12週 (電磁気学)電磁誘導の法則-レンツの法則・ファラデーの法則 第13週 (電磁気学)自己誘導と相互誘導 第14週 (電磁気学)交流回路 第15週 (電磁気学)マクスウェル方程式と電磁波	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、近代科学に対応する基礎学力と発展的学力の向上のため、現在の工学の基礎を少し掘り下げて重点的に学習します。 ■到達目標 受講生は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(D-G1)(A-1)(D-1)主に静電場の物理法則を理解し、様々な場合の電場や電位等を導くことが出来ます。 2. (A-G1)(D-G1)(A-1)(D-1)主に導体、コンデンサー、回路に関する物理法則を理解し、それらの問題を解くことが出来ます。 3. (A-G1)(D-G1)(A-1)(D-1)主に静磁場の物理法則を理解し、様々な場合の磁場等を導くことが出来ます。 4. (A-G1)(D-G1(A-1)(D-1))主に電磁誘導や交流回路等に関する物理法則を理解し、それらの問題を解くことが出来ます。 ことができるようになります。 ■教科書 「基礎物理学演習Ⅰ, Ⅱ」 永田一清編 サイエンス社 ■参考文献 その都度指示します。 ■関連科目 物理2a・2b・3a・3b, 応用物理a・b ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2回), 方式: 記述式 定期考査成績:定期試験100%で評価します。 最終成績:定期考査成績を平均して評価します。 90点以上「秀」, 80点以上90点未満「優」, 70点以上～80点未満「良」, 60点以上～70点未満「可」, 60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 各講義で指示された課題に取り組むこと ■教員所在場所 入試部 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWeb Classにて実施します。 ■メールアドレス kawakami@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 水曜日 9限目

科目名： 課題研究			
英文名： Theme Research			
担当者： 小野　朗子			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 通年
科目種別： 選択	単位数： 1		

授　業　計　画

平成29年度の市民公開講座と金曜講座を実施します。

市民公開講座テーマ(予定)
第１回　「キラリと光る名張の世界企業 ボルグワーナー社の自動車技術」

第２回　「本邦におけるデータ・サイエンスの最前線と医学系研究への応用について」

第３回　「人とロボットの協調 - ダンスパートナロボットからその産業応用まで - 」

第４回　「(検討中)」

第５回　「チームビルディング - ボトムアップ理論について - (仮)」

第6回　「(検討中)」

金曜講座テーマ
〇献血セミナー

〇防災・減災活動について

〇こころの教育

〇放射線の ABC

その他10テーマ程度を予定しています。

■授業概要・方法等
近年、技術者は健全なる価値観や倫理観を持つことが強く求められています。全5回に渡り企図された市民公開講座および金曜講座を聴講することにより、講義では得られない大きな教育効果を期待します。講演内容は、現代日本が直面する政治・経済・環境問題やものづくりなどに留まらず、地域振興、宗教など社会科学分野および、技術者としての知識、心構え、人間性教育の一環とします。講師は学長をはじめとする大学教員、地方自治体首長、本校教員、客員教授、非常勤講師、外部評価委員、地元企業経営者等です。

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (C-G1) 現代社会の課題を正しく認識する。
2. (C-G2) 新たなこと・困難なことに挑戦する精神を養う。
3. (C-G2) 各自が技術者として将来取り組む目標のイメージをつかむ。
ことができるようになります。

■教科書　講演会時に資料を配付します。

■参考文献

■関連科目　なし

■成績評価方法および基準
7回(金曜講座は2回の参加で1回と数えます)以上の講演会聴講とレポートにより評価します。
課題研究の単位は，開催予定の半分以上の回数の受講，レポート提出により認定します。
90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」

■教員所在場所　本館2F　教務部

■授業評価アンケート実施方法　2月にweb classにて実施します。

■メールアドレス　ono@ktc.ac.jp

■オフィスアワー　金曜日の8限

科目名： 創造工学演習		英文名： Creative Engineering Seminar	
担当者： 久貝克弥			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス「ロボット概論」 第 2週 ライントレースロボット製作のテーマ説明 第 3週 ライントレースロボット組み立て 第 4週 ライントレースロボット組み立て 第 5週 ライントレースロボット組み立て 第 6週 制御ソフト製作 第 7週 制御ソフト製作 第 8週 競技 第 9週 相撲ロボットの製作のテーマ説明 第10週 相撲ロボット組み立て 第11週 相撲ロボット組み立て 第12週 相撲ロボット組み立て 第13週 制御ソフト製作 第14週 制御ソフト製作 第15週 競技	■授業概要・方法等 メカトロニクス、機構学、制御工学、プログラミングのアドバイスを行いながら、学生自らがチームに分かれてロボットの製作と制御を行います。興味を持った題材を、楽しみながら積極的に学ぶ姿勢を重視し、チームワークと創造的能力の開発を行います。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって 1．(B-G1)(B-1)ロボットの製作を通じて、ロボット工学の基本的な知識を習得する。 2．(B-G2)(B-2)競技テーマへの取り組みを通じて、実践的な問題の解決方法を自らの知識を応用することで見出す経験を得る。 3．(B-G3)(B-3)講義全体を通じて、構想したものを具現化する経験を得る。 4．(B-G4)(B-4)他者と協働する際に、自己のなすべき行動を的確に判断し、実行する能力を身につける。 ことが出来るようになります。 ■教科書 ■参考文献 LEGO MINDSTORMSマスターへの道、Jin Dato/Joe Nagata著、Ohmsha、ISBN4-274-08699-2、¥2,300 ■関連科目 計測工学、制御工学、メカトロニクス ■成績評価方法および基準 製作した2種類のロボットにおける独創性、性能、機能の完成度をメカとソフトに分けて評価します。メカの評価20%、ソフトの評価20%、試合結果30%、グループでの貢献度30%で評価します。 学年末成績：上記評価と同じとします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」とします。 ■授業時間外に必要な学修 授業で習ったことを身近なものへ適用・応用し、その理解を深めること。 ■教員所在場所 本館1F進路指導室 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWeb Classにてアンケートを実施します。 ■メールアドレス kugai@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 平日12:15～13:00